

# 月例・新設・決算の講師団ご紹介

毎年ご協力いただいている東京税理士会足立支部の講師団（決算法人説明会6名、新設法人説明会3名、月例研修会8名）計17名の方をご紹介致します。  
講義終了後は個別で質問も承ります！ぜひご参加の程お願い致します！

## 決算法人説明会担当

- 4・11月担当 長谷川 記央 税理士
- 5・12月担当 高橋 雅人 税理士
- 6・2月担当 吉田 光成 税理士
- 7・9月担当 辰巳 晃一 税理士
- 8月担当 細田 邦雄 税理士
- 10・3月担当 小山 勝明 税理士

## 新設法人説明会担当

- 6月担当 小久保 文貴 税理士
- 10月担当 假屋 貴志 税理士
- 2月担当 木村 久枝 税理士

## 月例研修会担当

- 4月担当 渡邊 浩章 税理士
- 5月担当 中川 敦子 税理士
- 6月担当 清水 勇人 税理士
- 9月担当 赤塚 真三恵 税理士
- 10月担当 大原 豊幸 税理士
- 11月担当 小林 英生 税理士
- 12月担当 加藤 昭弘 税理士
- 1月担当 齊藤 正巳 税理士

### 2026 月例研修会日程表

【会場】足立法人会館3階 上段:10:00~12:00 下段:13:30~15:30

開催日	テーマ	サブテーマ	講師
2026年4月13日(月) 4月14日(火)	営業活動の税務	むずかしい交際費の判断	渡邊 浩章
5月12日(火) 5月13日(水)	投資と税務	有価証券と不動産投資に関する税務	中川 敦子
6月16日(火) 6月17日(水)	事業継承と社長の税金	自社株の評価方法・相続税の申告	清水 勇人
7・8月	休 講		
9月14日(月) 9月15日(火)	社長の税金	役員給与・会社と役員の間金銭借付 生命保険について	赤塚真三恵
10月15日(木) 10月16日(金)	固定資産について	減価償却について	大原 豊幸
11月17日(火) 11月18日(水)	決算対策と税務	決算対策と決算・ 税務調査の対応	小林 英生
12月14日(月) 12月15日(火)	消費税の税務	消費税の仕組み・申告と納付	加藤 昭弘
2027年1月13日(水) 1月14日(木)	会社の一生と税務	設立～解散・清算の税務	齋藤正巳
2月15日(月) 2月13日(火)	法人税の計算	別表作成①	足立税務署 審理担当
3月16日(火) 3月17日(水)	法人税の計算	別表作成②	足立税務署 審理担当



月例研修会



決算法人説明会

月例研修会はこちらのQRコードから登録申込が可能です



## 無料税務相談のお知らせ

# 公益社団法人足立法人会 × 東京税理士会 足立支部

足立法人会会員無料の**税務相談**を是非ご利用ください!!

### ◆ 申し込み手順

- (1) 足立法人会へ電話で相談申し込み
  - (2) 税務相談受付表の記入・提出
  - (3) 東京税理士会から連絡、相談日時の調整
  - (4) 調整した日時に税務相談
- ※ 初回1時間以内の相談のみ当会が費用負担  
時間延長、2回目以降の相談は自己負担

2026年度は  
**10名**  
無料で相談を  
受けられます



### ◆ 利用対象者

足立税務署管内の企業および経営者等  
(当会に入会していない方も対象となります)

【申し込み・問い合わせ】足立法人会事務局 TEL: 03-3881-0326

## 1時間まで**無料**。お気軽にどうぞ!!

# 法人会の法律相談



### 1. 申し込み方法

- (1) 東京法人会連合会 事業課 まで電話で申し込んでください。  
TEL: 03-3357-0771 (土・日・祝日を除く午前9時~午後4時)
- (2) その際、①所属法人会名 ②法人名 ③相談者名 ④連絡先電話番号をお知らせください。
- (3) 申し込み状況によってはお断りする場合があります。
- (4) 申し込み後、別途、下記担当法律事務所まで電話のうえ相談日時等を打ち合わせてください。その際、必ず「東京法人会連合会の法律相談」利用の旨を教えてください。
- (5) 相談日時は毎週月曜日から金曜日まで(祝日は除く)の午前10時・11時および午後2時・3時・4時です。

### 2. 利用できる方

都内各法人会の会員企業および経営者等。(同一会員の相談は月1回に限らせていただきます。)

### 3. 相談内容

法律全般。(相続等会社業務以外の相談も可。)

### 4. 担当法律事務所

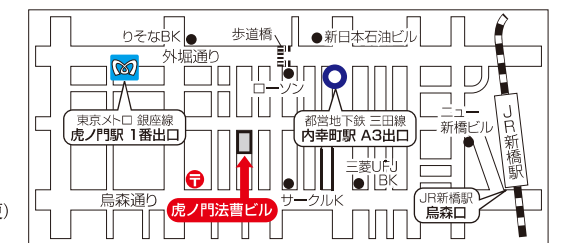
成和パートナーズ法律事務所(令和2年1月6日 羽野島法律事務所から名称変更)  
港区西新橋1丁目20番3号 虎ノ門法曹ビル501号  
TEL: 03-3592-0541 FAX: 03-3592-0543

### 5. 相談場所

左記法律事務所  
交通: 地下鉄 都営三田線「内幸町」駅(A3出口)徒歩3分  
東京メトロ 銀座線「虎ノ門」駅(1番出口)徒歩5分  
JR「新橋」駅(鳥森口)徒歩7分

### 6. その他

- 無料相談時間は1時間までです。(東京法人会連合会が負担します。)
- 時間を超えて相談される場合は相談者の負担となります。
- 料金は延長30分ごとに、5,500円(税込)です。その場で実費をお支払いください。



◇お問い合わせ先 (一社) 東京法人会連合会 TEL: 03-3357-0771

事業者の皆さまへ

令和9年1月から

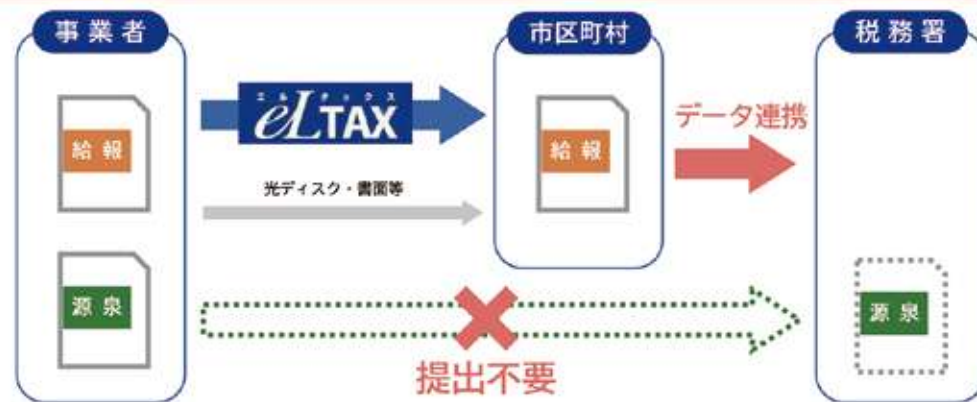
## 源泉徴収票の提出方法が変わります

### 改正の内容

令和9年1月1日以後に提出すべき令和8年分以後の給与所得の源泉徴収票については、事業者の提出事務の負担軽減を目的として、給与支払報告書を市区町村へ提出した場合には、税務署へ給与所得の源泉徴収票を提出したとみなされ、それに伴い、提出範囲が給与支払報告書と同じになります。

つまり・・・

給与支払報告書を市区町村へ提出した場合には、  
**源泉徴収票を税務署に提出する必要がなくなります！**



給与支払報告書の提出は eLTAX で、業務負担を大幅軽減！

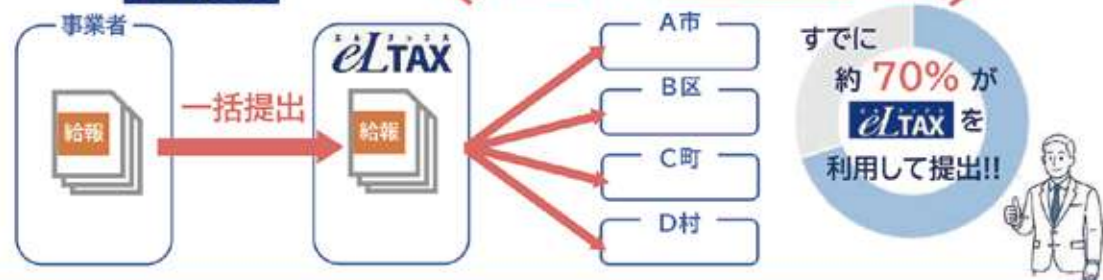


提出先が多すぎて、手間もコストもかかって大変です・・・！



どうしたらもっと効率的に提出できますか・・・？

eLTAX を使えば、各市区町村へ自動振り分け提出！！



葛飾健診センター長  
 吉原 一郎 先生

### 『睡眠についての独り言』

中学生の子供が、いつも寝ているとぼやく親御さんは多い。

そんな時は決まって私はこう答える。

『いずれ寝たくても眠れなくなるんだから、眠れるうちに寝たほうが良いんですよ』

人は歳を取る毎に眠れなくなる。

これは進化と捉えたほうが、精神衛生上は良い。

つまり眠らなくても、良い身体にアップデートされていくのだ。

しかし、その代償は大きい。

睡眠時間や深睡眠が減ることで脳機能、代謝、内分泌、免疫、精神、自律神経などなどにマイナスに働く。

ということは、長寿を目指すなら進化は捨てて眠るしかない。

日々の生活で眠ることを、最重要ミッションとして取り組もう。

**眠る秘訣その1** 運動！身体を動かすことで睡眠による回復機能を促す

**眠る秘訣その2** 夕食軽め！消化という大仕事を減らすことで身体の中に静謐が漂う

**眠る秘訣その3** 適正体重！肺を膨らますために邪魔な脂肪は少ないほうが良い

そして、最大の秘訣は眠れなくても、これも進化なのだからと心に余裕をもつことである。

### 都税事務所からのお知らせ

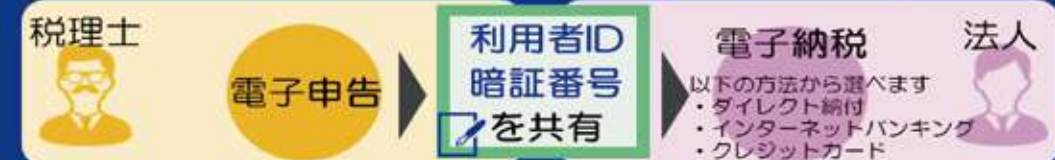
#### eLTAX 電子納税のご案内



「電子申告手続は税理士」、「納税手続は法人」の場合に、  
 便利な情報をお届けします

法人の都民税・事業税等について、関与税理士が eLTAX で電子申告した場合でも、利用者 ID と暗証番号を共有いただければ、法人側で、ダイレクト納付などの電子納税が簡単にできます！

詳しくは、こちら⇒



【お問合せ先】

東京都主税局徴収部徴収指導課

TEL (直通) : 03-5388-2984

支部活動報告

第9支部 異業種交流会

開催日：2月20日(金)  
場所：こがね鮎  
参加：18名



第6～8支部 合同異業種交流会

開催日：2月26日(木)  
場所：足立区勤労福祉会館  
参加：47名



第6・7支部 合同税務研修会

開催日：3月2日(月)  
場所：足立区勤労福祉会館  
参加：11名



第10・11支部 合同役員会

開催日：4月9日(木)  
場所：松鈴  
参加：16名



青年部会 活動報告

研修見学会

2月14日(土)、青年部会の研修見学会を開催しました。今回の見学先は、府中市にある東京競馬場です。

はじめに、競馬場内にあるJRA競馬博物館を見学し、競馬の歴史や文化について学びました。馬が速く走れる仕組みから紀元前にさかのぼる競馬の起源まで、普段なかなか触れることのできない専門的な内容に触れ、実際のレース観戦に向けて理解が深まる貴重な機会となりました。

博物館見学の後は、通常は立ち入ることのできないダービールーム(来賓室)での競馬観戦を体験しました。落ち着いた個室で昼食を取りながら、コース全体を見渡せる環境の中で、臨場感あふれるレースの迫力を存分に楽しむことができました。部会員同士で予想を楽しみながら、



その結果に皆で一喜一憂し、終始和やかでありながらも大いに盛り上がる時間となりました。

初めてのバス研担当ということもあり、至らない点もあったかと思いますが、多くの方から「また参加したい」とお声をいただき、大変ありがたく感じております。今年度も企画いたしますので、皆さまのご参加をお待ちしております。

(参加22名 担当副部長 國方 陽介)

定例会

開催日：2月24日(火)  
場所：足立法人会館  
参加：38名



青年部会

第4回 親睦ボウリング大会

開催日：3月2日(月)  
場所：マルアイボウリング  
参加：37名



集合写真



▲ボウリング大会の様子

個人戦	(敬称略)	HD 込2ゲームトータル
優勝	木村 功二	321
準優勝	村田 博昭	298
3位	横井 宏泰	295

団体戦  
レーン毎の対抗戦  
(上位3名のアベレージ)  
優勝 第3レーン 534  
中江雅幸、村田博昭、  
内田智浩、高橋隼人

2026年度 年次大会

4月15日(水)、西新井大師門前の清水屋にて青年部会の通常総会にあたる年次大会を開催いたしました。

はじめに、2025年度事業報告会として全国青年の集い山梨大会への参加や足立税務署との意見交換会の開催など、昨年度における青年部会の活動内容について、田中副会長よりご報告をいただきました。

続いて、会場を移し、55歳定年を迎える部会員の卒業式を執り行いました。長きにわたり青年部会を支えてこられた先輩方の卒業の言葉に胸が熱くなり、今後も現役部会員一丸となって青年部会をさらに盛り上げていきたいと、改めて強く感じました。

また、今回も青年部会OBの皆さまにご参加いただき、普段なかなか接点がない先輩方とも親睦を深める貴重な機会となりました。ご参加いただき、誠にありがとうございました。

(参加53名 担当副部長 村田 博昭)

2026年度卒業生

- ・第3支部 賛助会員 長谷川 雄一様
  - ・第12支部 ㈱あし川葬祭 芦川 隆行様
  - ・第12支部 ㈱紺蔵営繕 石鍋 介章様
- ～ご卒業おめでとうございます!～

事業報告会の様子



集合写真

左から石鍋さん、芦川さん、長谷川さん、田中副会長

青年部会 新入部会員募集中!

青年部会での活動を通じて、メンバー間の信頼関係を深め、情報交換や自己研鑽をはかり、少しでも各自の事業拡大に役立てばと考えています。若手経営者の新しい感性と情熱をもって、一緒に楽しく活動しませんか?

- 【入部資格】 足立法人会の会員で、3月末日現在、55才未満の方
- 【年会費】 年間 6,000円 (※但し、入部初年度については無料)
- 【主な活動】 ・研修見学会・親睦ゴルフコンペ・税務研修会  
・税務署との意見交換会・親睦ボウリング大会  
・「全国青年の集い」へ参加・年末懇親忘年会・定例会

【部会員数】 101名 (2026年3月31日時点)  
上記以外にも「足立風まつり」「あだち区民まつり」への参加や有志での親睦イベントなど幅広く活動しております。体験入部も随時受付しておりますので、皆さまのご参加をお待ちしております。

青年部会ホームページはこちら→



【入部についての問い合わせ先】 公益社団法人足立法人会 事務局  
TEL 03-3881-0326 青年部会担当橋浦まで



# 支部会員紹介

第1支部 (千住橋戸町、千住河原町、千住仲町、千住1~5丁目)

株式会社 **ALK** 代表取締役 **鈴木 信治**

## 企業の成り立ち

当社は2025年設立で、前職のAIG損保でお預かりしていたお客様とのお縁を、これからも大切にしっかりと守り続けたいという想いと、長年お世話になってきた地元・北千住に拠点を構え、地域への恩返しをしたいという思いもあり、新たな一歩を踏み出しました。



「お祝い蘭の間」とガラスケースに栄冠の盾

2026年2月の開業時には、多くのお客様や関係者の皆様から温かい励ましやお祝いをいただき、改めて支えられていることを実感しました。贈られた胡蝶蘭が美しく咲き続け、まるで宝塚のようです(笑)

## 主な事業内容とPR

当社は、損害保険代理店業および生命保険の募集業務を行っています。自動車保険や火災・地震保険をはじめ、医療保険、傷害保険、賠償責任保険、さらには個人情報漏洩保険やサイバー保険など、幅広いリスクに対応した保険商品を取り扱っています。

当社の強みは、千住生まれ・千住育ちだからこそ築いてきた、地域の皆様とのつながりです。保険業に携わって20年の経験を活かし、お客様に親身に寄り添いながら、安心してご相談いただける存在のNo1を目指します。

豊富な商品知識をもとに、お客様の事業内容に合わせた最適な保険設計・ご提案を行っており、個人・法人を問わず幅広く対応しています。また、スピード感のある対応も当社の大きな特長であり、ALKの生命線です。お困りごとやご相談にも迅速に対応させていただきます。



↑エレベータ前にウェルカムボードがお出迎え

保険商品はこちら →



## 近藤支部長のコメント

今期、新たに仲間に加わられた株式会社ALK。社長の鈴木様は、これまでAIG損保の社員として法人会の会員増強に多大なご尽力を頂いてきました。今後は本業である保険業務に取り組みられるとともに、第1支部のさらなる会員増強へのご協力をお願い致します。

竣工建つビルの7階フロアが職場です  
千住寿町交差点の一角



日当たり良好！窓際族の鈴木社長と従業員

## 職場の雰囲気など

当社は、役員2名と従業員1名の少数精鋭で、明るく穏やかな雰囲気の中で、楽しく仕事に取り組んでいます。社員は明るく元気で「やる時はやる」というメリハリを大切にしながら働いています。

現在は営業社員やフィールドスタッフ(事務)の募集も行っており、さらに活気ある組織づくりを目指しています。

## 経営理念・信念・ビジョン

理念は「ともに歩く、今までも、これからも」。保険という人生の大切な選択に寄り添う存在として、人と人とのつながりや思いやりを何より大切にしています。

今後は営業体制の強化を図り、足立区を中心に「いつでも気軽に相談できる代理店」を目指します。また、保険を通じて「知らなかった」を解消し、事故の未然防止につながる情報発信にも力を入れるほか、地域活動やイベントにも積極的に参加していく考えです。

## 法人会について

法人会への入会は、税務勉強会や異業種交流会などを通じて地域とのつながりを広げたいと考えたことがきっかけでした。地域に根ざした多様な活動が行われており、日々の営業活動においても多くの学びや気づきを得ています。

地域密着・迅速対応を大切にしながら、気軽に相談できる保険のパートナーとして、法人会会員の皆様の事業発展に少しでも貢献できればと考えています。今後は地域活動、法人会活動やイベントにも積極的に参加していく予定です。

## ○ 会社情報 ○

### 株式会社 ALK

住 所: 東京都足立区千住4-1-1 REBORNA北千住7F

電 話: 070-3152-9850

MAIL: info@alk-hoken.com

営業時間: 平日9:00~17:00(土日祝・年末年始除く)

アクセス: 北千住駅より徒歩6分

しょうせんじ 寺院 **勝専寺 別名「赤門寺」** 住職 **水野了信**

## 寺院の歴史・由来など

勝専寺の創建は文応元年(1260年)、勝蓮社専阿上人を開山とし、新井政勝が建立しました。寺名は開山の名が由来であり、寺宝の千手観音像にまつわる伝承は「千住」という地名の由来ともいわれ、地域の歴史を語るうえで欠かせない存在となっています。また、江戸時代2代将軍徳川秀忠が鷹狩をした際に休息所となり、3代将軍徳川家光は境内の茶屋に立ち寄りしました。慶安2年(1649年)に4代将軍徳川家綱が日光に社参した際には仮御殿が造られたこともあり、非常に将軍家とのお縁があります。

## 寺院の特徴

境内の閻魔堂には寛政元年(1789年)に開眼された朱塗りの木造閻魔王坐像(足立区登録有形文化財)が安置されています。また、荒川から引き上げられ、千住の地名の由来になったといわれる木造千手観音立像も安置されています(足立区登録有形文化財・非公開)。山門が朱色であることから「赤門寺」と呼ばれています。



木造千手観音立像



赤門正門

## 行事・地域との関わり

閻魔堂は毎年1月15・16日、7月15・16日に開帳され「閻魔開き」を行い、境内や周辺には多くの露店が並び、多数の参拝者が集まり賑わいを見せます。この行事は地域の人々にとっても親しまれている伝統行事となっています。



閻魔様

縁日の様子

## 近藤支部長のコメント

法人会に「なぜお寺が?」と思われる方もいるかも知れませんが、足立区仏教会の寺院はすべて法人会に属しています。千住といえば赤門寺、千住宿開設から約400年の歴史を持つ名跡として広く知られ、皆様の中にも一度は訪れた方がいらっしゃるのではないのでしょうか。

煉瓦張りの本堂



南門



鐘楼



## ご住職

住職は、初代から数えて第34代として寺を受け継いでいます。芝の増上寺や京都の知恩院で修行を積みました。

「人の心と人生に寄り添うこと」を基本に朝夕のお経やお参りなどの日課の勤行を行い、仏さまに手を合わせ、そのほかお葬式や法事での読経や供養、檀家さんや地域の方の相談にも丁寧に向き合っています。また足立区仏教会会長、東京都仏教連合会理事としてもご尽力され、たまの休日には、趣味の盆栽やヨガで心身を整えています。

## 地域の方へ伝えたいメッセージ

お寺は地域の皆さんが気軽に訪れ、心を落ち着かせることができる場所であり、地域の中で町会とつながり、みなさまの心のよりどころとしての寺でありたいと思い、また檀信徒のため地域との繋がりを大切に、縁日など多くの方々が集う場所でありたいと思っています。

長い歴史を持つ勝専寺は、これからも地域の人々に寄り添いながら千住の歴史を見守り続けます。

## ○ 寺院情報 ○

### 勝専寺 別名「赤門寺」

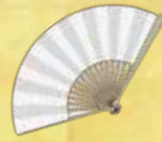
宗 派: 浄土宗 三宮神山大鷲院勝専寺

ご本尊: 阿弥陀如来

住 所: 東京都足立区千住2-11

電 話: 03-3881-2358

アクセス: 北千住駅より徒歩5分



# 練る語やば



このたび、新たな連載が始まります。神田春陽門下で前座修行中の神田ようかんさんが、講談という奥深い芸の魅力や、日々の修業のあれこれを、等身大の言葉でお届けします。まだ知らない方にも、思わずのぞいてみたくなる講談の世界。ぜひ一緒にお楽しみください。

## 【絶滅危惧種！希少な芸～講談ってなんだ？】

読者の皆様、はじめまして。神田春陽門下で講談師として修行する前座の神田ようかんと申します！

早速ですが、「講談」ってご存知ですか？

ほとんどの方が生で聞いたことがないとおっしゃいますが、それもそのはず。江戸と上方（関西）の講談師を合わせても、100人を少し超えるくらいと言われています。

この数、実はあの絶滅危惧種「イリオモテヤマネコ」と同じくらい。もっと言うと、イリオモテヤマネコは「近絶滅種」とされ、将来的に野生での絶滅がほぼ確実とも言われています。つまり——野生の講談師に遭遇することは、ほとんどないと言っていいのです。

そんな中でも、江戸の講談師たちは、私の所属する講談協会と、日本講談協会の二つの団体に分かれて活動しています。

## 【落語とはどう違う？講談ならではの面白さ】

さて、「落語とどう違うの？」とよく聞かれます。どちらも大衆演芸には違いありませんが、落語が「町人の噺」だとすれば、講談は「武士の物語」です。

落語が滑稽で落ちのついた会話として展開されるのに対して、講談は侍の英雄譚的な語り。ある時代の偉人がどんなことをしたのか、虚実ないまぜにして申し上げます。

例えば——主君の仇討ちを果たした赤穂義士



の物語、水戸黄門、大岡越前の名裁き。「カッコいい」読み物がたくさんあります。

もともと本を置いて文字を追いながら読み上げていたので、今でも「読み物」と言います。

また、コラムでもご紹介しますが、その名残として、講釈台を前にし、張り扇でパンパンとリズムを刻みながらお話を申し上げます。（ちなみに、日本で一番有名な釈台はというと、笑点の司会者が使うあの釈台です……）

講談は難しい歴史の話と思われるかもしれませんが、実は多くが嘘っぱち。徳川家康の最大の負け戦とされる『三方ヶ原軍記』でも、いなないた馬の鼻息の暖かさまでも、その場にいたかのように伝えようとするのです。「講釈師見てきたような嘘をつき」と揶揄されてしまうのも納得です。「そんなわけあるか」と思いながら聞くのも、一つの面白みかもしれません。

## 【前座はまだ“講談師”じゃない？修業の日々の舞台裏】

さて、ここからは前座の一日のお話です。講談も落語と同じく、前座・二ツ目・真打に分かれています。入門してから知ったのですが、前座は実はまだ講談師ではない（らしい）のです。あくまでも卵、修行中の身です。

主な仕事は、先生や先輩方が気持ちよく高座を務められるよう、楽屋まわりのお手伝い。お茶の用意から、先生の着付けの補助、お着物を畳んだり、根多帳を書いたり——その合間に高座に上がらせていただき、覚えた読み物をものでできるよう精一杯勉強します。

例えば、上野広小路亭の定席での一日。10時30分、楽屋に到着。11時、チラシを組んだり、会場や楽屋の準備。時間が余れば、開場

前に空板で稽古。お客様のいない高座を広々使える、束の間の楽しみです。12時30分、開場。同時に前座が前講を務めます。自分にとっては勉強の時間ですが、お客様にとっては「あ、もう始まっているな」という合図です。13時、開演。先生方が続々とおいでになり、お茶出しや着付け、畳みなど、いわゆる「楽屋ばたらき」はここからが正念場。楽屋仕事をしたり、高座返しをしたり。16時、終演。後片付けを終えて一息、つく間もなくおっとり刀で打ち

上げへ。ここでも気を抜かず気働き。

講談協会主催の定席では、開場から開演までの時間が、前座が勉強させていただく貴重な機会です。先生方からも「前座は木戸銭には入っていないんだから、失敗を恐れず目一杯勉強なさい」と言っただけなのは有り難く、背中を押される思いです。

さて、頁の余白も少なくなっただけではありません。なぜ、私が講談の道を選んだのか——そのお話につきましては、次回への連続といたします。

## コラム

### 講談の三種の神器

講談では、落語とは少し違った小道具を使います。主たるものが、釈台（講釈台）と張り扇です。ハリセン……ではありません。もともと講談は、台の上に読み物を置き、その「講釈」を読み聞かせる場所に原形があります。ただ読むだけでは聞き手も飽きてしまう。そこで大衆演芸化の中で、張り扇で調子を取りながら語る形になっていきました。

#### —/ 張り扇 /—

張り扇は講談師それぞれが自分で作ります。声質や好み、また釈台との相性によって大きさも厚みも違います。高い声に重い音では浮いてしまいますし、天板の薄い釈台では妙に響きすぎることもあります。かつての講釈場「本牧亭」で使われていた釈台は今でも現存しています。樺づくりの指物で演者も驚くほど良い音が出ます。ただとにかく重いのが玉に瑕……。



#### —/ 釈台 /—

釈台にも決まった形があるわけではありません。講談師の体の大きさや会場によって、ちょうどよい大きさがあります。私も稽古用に自分で作りましたが、いい音を求めて堅く重い木を選んだ結果、持ち運びには少々難儀しました。道具というのは、なかなか思うようにはいきません。

#### —/ 扇子・手ぬぐい・台本 /—

ほかに扇子や手ぬぐいも使います。弓矢や刀、手紙や財布に見立てるのです。また、読み物によっては今でも台本を置く決まりがあり、前座は石州半紙に筆で写した和綴じの本で軍談を読みます。今回は、『三方ヶ原軍記』について少しご紹介しようと思います。

## 神田ようかん プロフィール

講談師 神田春陽門下、2022年6月入門。講談協会に所属して、現在は前座として日々研鑽中。昔取った杵柄を思い切り振り回して、『千住七不思議』や『本所七不思議』を取り上げて、英語を用いた講談などにも手探りで挑戦しています。本連載では下っ端の自分が、講談についてみなさまに知ってほしいこと、日頃考えていることなどを生えながらご紹介できれば幸いです。どうぞごゆるりとお付き合いください。

## 厚生委員会 宮古島研修旅行 3/25(水)~3/27(金)

厚生委員会では、会員企業の皆さまの健康促進と親睦交流を深める目的として、国内外の観光地を巡る研修旅行を実施しています。今年度は、沖縄研修旅行の第3弾として、「宮古島と周辺の島々を巡る研修旅行」を開催しました。

### 【1日目】

宮古空港到着後、バスで移動し、貝のミュージアムが併設された海宝館で昼食をとりました。その後、宮古島の最東端にある景勝地東平安名崎を見学しました。

東平安名崎での集合写真



続いて、国内最南端に設置されたリフトオーシャンスカイリフトに乗り、海岸線や島内の景色を楽しみました。最後に、宮古島と橋でつながっている来間島の展望台から南国らしい美しい海を堪能し、1日目を終わりました。



東平安名崎灯台

オーシャンスカイリフト

### 【2日目】

2日目は、ゴルフ組と観光組の2班に分かれて行動しました。ゴルフ組は、エメラルドコーストゴルフリンクスにて、海越えを含む自然豊かなコースでのプレーを楽しみました。

観光組は、はじめに島北部の宮古島海中公園の海中観察施設と、名産品である雪塩の工場兼直売所雪塩ミュージアムを見学しました。

雪塩ミュージアム



その後、池間島、伊良部島、下地島など、宮古島に隣接する島々を巡りました。

伊良部島での集合写真



全長3540m(サンゴ礁の語呂合わせ)の伊良部大橋

### 【3日目】

最終日は、まいばり宮古島熱帯果樹園にて、カートに乗りながら島内の動植物の生態について学習しました。また、数十頭しか現存していない天然記念物「宮古馬」への餌やりも体験しました。



まいばり宮古島熱帯果樹園 天然記念物に指定されている宮古馬

最後に、宮古島の市街地で自由散策の時間を設け、公設市場や土産店での買い物を楽しんだ後、宮古空港へ向かい、今回の研修旅行の全行程が終了しました。

ご参加いただいた皆さま、そして企画段階から旅行を支えてくださった第12支部のオリオンズ観光(株)松本社長のご協力により、盛会のうちに終了いたしました。研修旅行は2026年度も開催を予定しております。開催が決定した際は広報誌を通じてご案内いたしますので、会員の皆さまの奮ってのご参加をお待ちしております。

(参加29名 厚生委員長 三浦 啓行)

### 【トピック】宮古島まもる君

交通事故の防止を目的として島内各所の交差点や施設に設置されている「宮古島まもる君」。白塗りのような顔と警察官を模したユニークな姿は、ドライバーや歩行者に交通安全を呼びかける存在として島民に親しまれている。また、宮古島を代表するキャラクターとして、Tシャツや貯金箱など様々なグッズも販売されている。



## お知らせやご近所にまだ法人会へ入会していない会社はありませんか？

足立法人会は東京都に認可された公益法人として、税に関する活動を通じて地域社会に貢献している経営者団体です。お知らせやご近所に当会の活動へご参加・ご賛同いただける未加入法人・個人事業主の方がいらっしゃいましたら、是非ともお声がけくださいますようお願い申し上げます。

税務署と連携した経営者のための研修会・講演会	区民まつり 凧まつりなど地域事業への参加	租税教育活動 絵はがきコンクール 税金クイズの開催
会員間の親睦を深める異業種交流行事	経営を支援する多種多様な福利厚生制度	行政機関への税制改正要望書の提言活動

## 税に関する活動を通じて地域社会と健全な経営に貢献する法人会へ入会しましょう！！

入会に関するご質問がある方は事務局までご連絡ください

TEL 03-3881-0326

※受付は平日の9:00~17:00になります※

公益社団法人足立法人会 事務局

けんたくん

HPからのお問い合わせは随時受付しています。スマホ等でQRコードを読み取ってご覧ください

## 会費請求についてのご案内

＜振込をご利用の会員様＞

### 会費の納入は口座引落がお得です！

口座引落は手数料負担0円で法人会の会費をお支払いいただく事ができます。また、銀行やATMで振り込みのお手続きをしていただく必要もございません。経費削減のため振込から引落に変更していただくことをお勧めいたします。

口座引落への切り替えご希望の方は「会費請求についてのご案内」へ記入または、下記QRコードより申請をお願いいたします。お手続き書類を郵送いたします。弊会HP右上「お問い合わせ」⇒「会費口座引落申請」⇒「申請WEBフォーム」※手続にお時間がかかる場合がございます。お早めのご連絡をお待ちしております。

WEBからの申請はこちら→



＜口座引落をご利用の会員様＞

今年度も年2回、ご指定の金融機関より口座引落しをさせていただきます。

法人会の会費は「消費税不課税取引」ですので、消費税の仕入控除の対象になりません。「諸会費」等の費用として経費計上できます。

### 【問い合わせ先】

公益社団法人足立法人会事務局  
 電話 3881-0326 FAX 3879-3540  
 e-mail koueki@adachi-houjinkai.or.jp





5月のテーマ「無理」に多数のお申し込み有り難うございました。広報委員会・選者で厳選した結果、以下の5作品に決まりました。次回も奮ってご参加下さい。

**仕事辞め 悠々自適 まあ無理だ** (金太郎)

定年後の引退生活を夢見ての一句ですね。当節は、隠居生活も楽ではありません。誰もが三屋清左衛門(時代劇)とは参りません。資金と健康が必須条件。

**無理しても 五輪は朝まで 観てしまっ** (メダリスト)

時差の関係もあり、ほとんどが深夜にテレビ中継がありました。不眠症は、自国が勝てば吹き飛んでしましますが、相当な無理でした。

**もう無理だ 口癖の父 健康体** (カルアミルク)

老いばついで口に出るのがこの言葉です。言いつつも健康に自信があるお父さんは、心は強い人なのでしょう。自信は、若い頃の蓄積が生きてくるからです。

**あの頃の 無理が祟って ガタきてる** (オオタニサン)

引退して初めて、若いころの無理が顕れます。長寿社会で生き抜くには、早くに体の欠陥を克服することです。暴飲暴食は厳に戒めとすることです。

**孫のため 無理して並ぶ ポケモンに** (大丸)

おなじ無理でもこの無理は孫のためですから、楽しくできる無理です。ポケモンに並ぶことも何なりとできるのは、老人の生き甲斐でもあります。

総評

古い諺に「無理が通れば道理が引つ込む」というのがあります。無理には、正しいことが行われなくなるという意味があります。例えば、体に無理なことをすれば、健康な身体を蝕む症状が顕れます。高血症・糖尿病・痛風・腰痛・関節痛等々。選者も過去に苦しんだ時期がありました。それを乗り越えるためにどれほどの時間と労力を遣ったことか。我ながら全くお恥ずかしい限りです。尽きるころそれは人生の遠回りでもあり、避けて通れない道でもありました。仕事を辞め、定年後に悠々自適の一時を送るに当たって、すぐにも無理からの脱却をお勧めします。

無理無理と 言いつ、通す 手管かな (藤袴)

無理ならば 手変え品変え 試すべし (藤袴)



「川柳」は、五・七・五のリズムで詠む口語の定型詩です。口語以外の言葉を用いる必要はありません。俳句と違い、季語を用いる必要はありません。テーマの言葉を入れる必要はありません。

お一人様、二句まで、ハガキ又は、FAXで投句

※句掲載の方には、クオカード(一、〇〇〇円分)を差し上げます。

締切 二〇二六年五月二十九日(金)まで  
投句先 〒二〇一〇〇三五

足立区千住中居町二十五ー七  
FAX 三八七九ー三五四〇  
(公社)足立法人会 川柳係へ  
お寄せください。

選者・コメンテーター紹介

秋庭 隆(あきば・たかし)  
戦後18年間、足立区に居住。  
現在、「東海道ネットワークの会21」顧問(藤沢市在住)。

あとがき

五月は緑が美しい季節です。木々は何事もなかったようにすくすく伸びておりますが、私たち人間はなかなかそうも参りません。私もまた胸を張れるほどではありませんが、せめて前向きな言葉の一つ残したいものです。どうぞ皆さま、健やかな五月をお過ごしください。

(米本広報委員)

公益社団法人  
足立法人会報  
第301号 (通巻363)  
2026年5月1日発行  
発行所  
公益社団法人 足立法人会  
足立区千住中居町25-7  
電話 (3881) 0326  
メールアドレス  
koueki@adachi-houjinkai.or.jp  
編集人  
広報委員会